



文化のど真ん中で!

# 恵まれた立地を楽しみつくす 4年間。

JR水道橋駅からも東京メトロ神保町駅からも、30分も足をのばせば

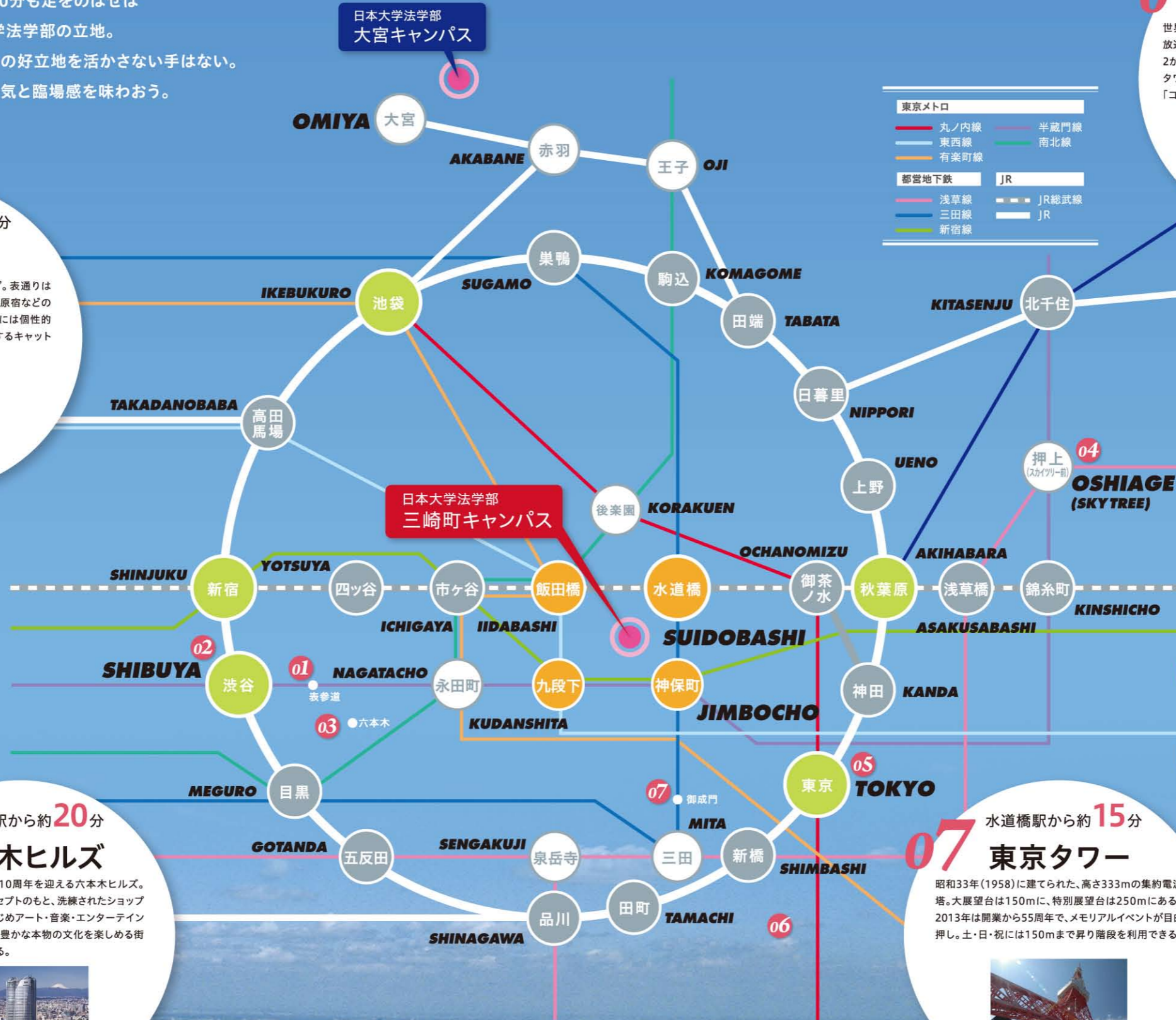
東京の有名スポットのほとんどに行ける日本大学法学部の立地。

自由な時間とあり余る体力のある学生時代に、この好立地を活かさない手はない。

スマホのモニターからは得られない、その街の空気と臨場感を味わおう。

日本大学法学部  
大宮キャンパス

日本大学法学部  
三崎町キャンパス



## 01 水道橋駅から約20分 表参道

ケヤキ並木の美しい「日本のシャンゼリゼ」。表参道は高級ブティックや表参道ヒルズ、ラフォーレ原宿などの大型商業施設で華やか、裏通りの住宅街には個性的なセレクトショップが点在。表参道を横断するキャットストリートは裏原宿の人気スポット。



## 02 水道橋駅から約20分 渋谷

雑誌に掲載されるカワイイ雑貨、ファッション、流行の言葉。この街でウオッチングできないものはない。音楽好きにはクラブやライブハウス、演劇好きには大型の劇場から小劇場まで。2012年春にオープンした渋谷ヒカリエは新しいランドマーク。



## 03 水道橋駅から約20分 六本木ヒルズ

2013年春に開業から10周年を迎える六本木ヒルズ。「文化都心」というコンセプトのもと、洗練されたショップの数々、森美術館をはじめアート・音楽・エンターテインメントの充実、と国際色豊かな本物の文化を楽しむ街として進化を続けている。



## 04 水道橋駅から約20分 東京スカイツリータウン®

世界一の高さ634mをもつ自立式電波塔。地上波デジタル放送の送信を目的に2012年5月22日開業。350m、450mの2か所に展望台があり、展望時間は朝8時から夜10時まで。タワーの足元にできた「東京ソラマチ®」「すみだ水族館」「コニカミノルタプラネタリウム“天空”」なども人気。



## 05 水道橋駅から約10分 東京駅

明治当時の外観を復元した、東京駅丸の内駅舎が2012年秋オープン。赤煉瓦づくりの情緒と風格が蘇った。合わせて東京ステーションギャラリーも再開、東京ステーションホテルも機能を拡大して開業。活性化する東京駅とその周辺から目が離せない。



## 06 水道橋駅から約40分 お台場

ディズニーリゾートと並ぶ屈指のデートスポット。海浜公園でレインボーブリッジを眺めるもよし、フジテレビで見学もよし、台場一丁目商店街で昭和に浸るもよし、疲れたら大江戸温泉物語で足湯するもよし。理科好きには日本科学未来館や船の科学館も。



## 07 水道橋駅から約15分 東京タワー

昭和33年(1958)に建てられた、高さ333mの集約電波塔。大展望台は150mに、特別展望台は250mにある。2013年は開業から55周年で、メモリアルイベントが目白押し。土・日・祝には150mまで昇り階段を利用できる。



参考:東京の観光公式サイト「GO TOKYO」 <http://www.gotokyo.org/>

# 心を揺さぶられた、この一本

本・映画・音楽・アニメ・ゲーム・漫画——

これまでの人生の中で、心揺さぶられた「一本」と呼べるものがありますか？

誰かに薦めるわけではない、その一本との個人的物語を

教職員の皆さんに、熱く語っていただきました。

教壇や事務局では見られない少年少女の面影にもご注目を。

## 01 BOOK

### 人は誰でも新しい人間に 変わることができる

『レ・ミゼラブル』 ヴィクトル・ユゴー 著



#### 江島 泰子 教授

えしま・やすこ / 担当科目はフランス語、基礎研究ほか。専門はフランス19世紀文学。奈良女子大学 文学部卒業後、リヨン大学にて博士。日本大学法学部 助教授を経て2005年より現職。

#### 感動の一本



授業で使うこともある  
『レ・ミゼラブル』  
新潮文庫 全5巻と  
フランス語版の  
『Les misérables』。



ミュージカルが大ヒットし、映画も上映中ですのでご覧になった方も多いと思います。私がこの本を最初に読んだのは9歳の時、『ああ無情』というタイトルでした。「少年少女世界文学全集」というのを両親がとってくれていて、全50冊の中に入っていました。ほとんどは一度読めばそれっきりでしたが、『ああ無情』は何回も何回も読みました。ハードカバーで挿絵がたくさん入った素晴らしい本だったのを憶えています。

何度も読んでいたうちに、子供用書き直されたものではなく大人が読む本で『レ・ミゼラブル』を読みたいと思うようになり、中学生の時に河出書房から出ていた2段組み全3巻を読みました。ただ、今になって考えてみると、ユゴーの小説というのは例えば1815年のワーテルローの戦いに関するくだりや、パリの下水道に関するくだりなどは、何十ページにもわたっているので、中学生の私にそういうところまで精読できたとは到底思えないのですが、ともかく最初から最後まで読み通しました。

ミュージカルや映画の『レ・ミゼラブル』は、コゼット

(主人公ジャン・ヴァルジャンが引き取って育てる少女)のシンデレラストoryに力点を置いて描かれることが多く、それが人気を牽引しているともいえますが、私自身が感動したのは、ジャン・ヴァルジャンとミリエル司教との出会いの場面です。銀の食器を盗んでつかまり、再び刑場送りになるかという時に、ミリエル司教が「いや、これは私が与えたものですよ」と言って罪がわからないようにする。その上に「銀の燭台を忘れていきましたね」とジャン・ヴァルジャンに渡す。私は、このシーンがテキストの要の部分だと思っています。つまり、これは「変容」の物語なんですね。人間は新しい人間に変わることができる。誰でも変わる可能性を持っているのだと。そういう物語として読み、そして非常に感動しました。

#### 自分独自の世界を持つことの意味

いきなり『レ・ミゼラブル』の原典のようなものに取りかかるのは大学生でも難しいと思いますので、概説書なり説明書なり、なんらかの簡単なものから

入っていくといいと思います。読書に至る一つの道筋ができますから。

読書に限りませんが、趣味やカルチャーで自分の世界を持つということ、それはとても意味のあることだと思います。大学生であれば授業やゼミ、サークルなどの世界がありますが、それとは別の、他人と共有でない自分独自の異空間を持つことによって、一元的でない多様な見方ができるようになる。生きていく上で大切なことだと思います。



フランス語版『レ・ミゼラブル』。一度、授業で泣いちゃったことがあるんです。ガブローシュという少年が民衆蜂起で亡くなるのですが、彼が歌うたが韻を踏んでいて、詩的で美しく



## 02 BOOK

さこう・しんすけ / 担当科目はメディア社会論ほか。専門は社会学、メディア論。法政大学大学院 社会科学部 社会学専攻博士課程 単位取得満期退学。2006年より現職。

### からだを劈かなければ ことばも劈かない

『ことばが劈かれるとき』 竹内敏晴 著

#### 佐幸 信介 准教授

「劈く」は「ひらく」と読みます。『ことばが劈かれるとき』は演劇論、身体論で、初版(思想の科学社刊)は1975年ですが現在も「ちくま文庫」から出ていて版を重ねています。僕が大学生だった80年代前半の演劇シーンというのは、鈴木忠志、唐十郎、寺山修司、つかこうへい等の次の世代として野田英樹や鴻池尚史らがでて小劇場ブームを巻き起こしていた。僕も「地味に」演劇を観ていて、そんな時に竹内敏晴のこの本に出会いました。

竹内敏晴という人は、大正生まれの演出家であり教育者ですが、もともと聴覚言語障害をもたれていた方で、その自伝がこの本の前半に書いてあります。聴覚言語障害に加え、終戦の喪失感の中で二重の失語症に陥るのですが、そんな彼の生きる糧になったのが演劇だった。東大文学部を卒業後、演出家の岡倉士朗をたずね、代々木小劇場を作るなど前衛的な演劇を始め、のちに演劇のレッスンスクールや大学で演劇と教育、特に障害児とをつないだ方です。

#### 感動の一本



「ことばが劈かれるとき」  
思想の科学社刊。  
購入した一冊は  
1984年2版7刷。  
びっしりと鉛筆や  
色鉛筆の挿絵が  
引かれている。

『ことばが劈かれるとき』の冒頭に、ことばの発話が遅れているチヨコちゃん(チヨコちゃん)が声を出せるようになるエピソードが紹介されています。「アー」という声を、教室の正面にある黒板を突き通して、隣の教室の先生のおでこにくっつけよう。そのイメージをもって稽古すると、チヨコちゃんは「アー」という長く、張りのある声ができるようになった。チヨコちゃんは、からだを劈(ひら)いて先生のひたいに声をくっつけた、ということ。つまり、「ことばがひらかれる」というのは同時に「からだがひらかれる」ということである。からだはひらかれないと、ことばもひらかないんだと。

2009年に竹内敏晴とピナ・パウシュ(独のダンサー、振付家)が亡くなったこともあり、久しぶりに再読しましたが、現在の社会の中でも読まれてよい本だと思いました。二十歳の頃に茫洋と考えていたことを、二十年以上たって社会学の研究者となつたいまもずっと考え続けている。そういう意味で原点となった一冊ですね。

### 働きながら勉強する わがキャリアモデルとして

『平家納経の世界』 小松茂美 著

#### 感動の一本



『平家納経の世界』六興出版刊。  
1995年に中公文庫。  
平清盛以下、一門三十二人が  
血縁して厳島神社に奉納した  
豪華納経たる装束経。  
『平家納経』成立のドラマ。

#### 谷田部 光一 教授

奥付をみると1976年12月発行となっていて、買った日付を77年2月23日と書き込んでいます。私が28歳の時だから、もう36年も前。学生時代に作った蔵書印も押してあります。

「平家納経」というのは厳島神社が所蔵している国宝で、私もレプリカを見たことはありますが、実は平家納経そのものに興味があったわけではありません。著者の小松茂美という人のキャリアに興味をもったのがきっかけです。彼は国立博物館に勤務しながら、自分の時間をつくって勉強し、三十年かけて『平家納経の研究』を書き上げた人で、古筆学という独自の体系をうちたてたことでも有名です。その小松茂美の半生がこの一冊に書いてあるというので買い求めました。

読むと、睡眠時間2、3時間で勉強したということが書いてある。そうか、ちゃんと働きながらも、これほどの研究ができるんだと。私にそのことに感銘を受けたのには、学生時代に家の事情でバイトに明け暮れ、睡眠時間も3時間そこそこの生活の中で、勉強したくてもできなかったという思いがありました。目標だっ

た研究者への道を断念し、専門誌の編集者をしてながらこれから先どうなるのだろう、と不安を抱いていた、まさにその時にこの本と出会った。寝ないで勉強するのは自信がある。人材マネジメントの勉強を極めよう。

そして40歳の時にコンサルタントに転職しましたが、その後も折々に自分を鼓舞してくれる座右の書となっています。小松茂美は膨大な仕事をのこして2010年に亡くなりましたが、新聞のコラム欄などで取り上げられる度に、あいかわらずがんばっておられるなど、「働きながら勉強する」わがキャリアモデルとして励まされてきました。

私自身は遅れてきた研究者、まだ勉強途上ですが、学生たちには、趣味で情緒を豊かにしてほしい一方、やはり勉強も徹底的にやってもらいたいと思います。



新聞の人物紹介欄や書評欄にのった小松茂美に関する記事は、切り抜き大切にしている。

## 03 BOOK



やたべ・こういち / 担当科目は人材マネジメント論ほか。研究テーマは人材マネジメント、キャリア・マネジメント。日本大学 法学部 法律学科を卒業後、財団法人労働行政研究所を経てコンサルタント。2003年より現職。

# 心を揺さぶられた、この一本



ながぬま・むねあき / 担当科目は西洋の歴史、西洋史概論ほか。研究テーマはドイツ語圏のユダヤ人史。東京都立大学 人文学部 人文学科史学専攻を卒業後、都立大学で修士課程、一橋大学で博士課程。1996年より現職。

## 04 MOVIE

### どの立場にたってもものを見るか その問いを突きつけられた

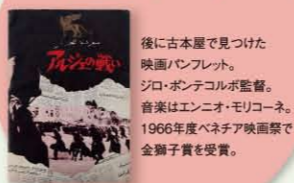
『アルジェの戦い』伊・アルジェリア合作映画

#### 長沼 宗昭 教授

今年に入ってからの二つの出来事が、私にこの古い映画を思い出させました。一つは岩波ホールで観た『最初の人間』というイタリアなどの合作映画。アルペール・カミュの自伝的な映画で、パリで名声を得た主人公が、母親がいまも暮らすアルジェリアに講演のため帰郷する。1957年という独立運動の最中のことです。とてもいい映画でした。もう一つは、プラント会社日揮の社員がアルジェリアで数多く亡くなった痛ましい事件。

そういえばアルジェリアのフランスからの独立を描いた映画を、大学に入った年(1967)に渋谷で観たなあと。たいへんに衝撃的でした。始まりのシーンで、カスバという地元の人が暮らす町、そこに解放運動のリーダーたちが立て籠もっている、その町をフランス軍が包囲し、おそらく爆破したのだろうと思わせる。そして時間を遡りながら、さまざまな抵抗運動が描かれていきます。象徴的なのが、抵抗側のムスリムの女性たちが、長い髪を切ってフランス人女性に扮装し、検問をくぐり抜けてアルジェの町のカフェなどに入る場面。

#### 感動の一本



後に古本屋で見つけた映画パンフレット。ジロ・ボンテコルが監督。音楽はエンニオ・モリコーネ。1966年度ベネチア映画祭で金獅子賞を受賞。

女性の鞆の中には爆破装置が入っている。カフェでは若いカップルが楽しげに語り合い、小さな子供がアイスクリームをなめている。非常に穏やかな平和な風景。しかし、この風景は間もなく吹き消される…。

高校の歴史などで習った民族独立というのは、近代の歴史の中で「進歩」であり、「善」であると自然にそう思ってきたが、はたしてこのように具体的な個々の局面で見ていくとどうなのか。支配する側から見れば、百数十年をかけて定着した平和な生活、ささやかな幸せが覆される悲劇がそこにあるわけです。映画を見終わった時、「あなたはどの立場にたって見ますか?」という問いを突きつけられた、そんな映画でした。



登場人物のほとんどが素人で、民衆蜂起のラストシーンはカスバの住人エキストラだった。

### いまでも聴くと元気になれる 一生ものの感覚

ザ・フー『QUADROPHENIA』ほか3枚のアルバム

#### 高畑 英一郎 教授

僕たち80年代の終わりに大学生だった世代は、小学校5、6年生の時にYMOブームに直面しています。それが洋楽との最初の出会いであり、さらに伊武雅刀や小林克也がやっていた「スネークマンショー」の影響で、本格的にロックにのめり込むようになりました。

絞るのは難しいのですが、心揺さぶられた3枚のアルバム——1枚目はギターの神様といわれるジェフ・ベックのアルバムの中で一番好きな『JEFF BECK GROUP』(1972年)。ロックとソウルなど他の音楽をうまく融合させている、その世界観が好きです。が、何と言ってもギターが巧い。僕も高校生の頃からバンドでベースギターをやっていたこともあり、84年以降、来日する度に追っかけています。

2枚目は、ザ・フーのロック・オペラ2作目のアルバム『QUADROPHENIA』。ロック・オペラというのは、アルバム全体で物語を展開するスタイルで、ザ・フーが

#### 感動の一本



左からジェフ・ベック『JEFF BECK GROUP』、ザ・フー『QUADROPHENIA (四重人格)』、ジョン・ハイアット『BRING THE FAMILY』

このジャンルを確立したとされています。アルバムの邦題は『四重人格』(1973年)。これも高校生の時に買い、そのころは英語の歌詞はよくわからなかったけれど、サウンドに圧倒された。イギリスの片田舎に住む少年の反抗、悲しみ、孤独、疎外感…。若者ならたいてい経験する青春の挫折と再生の物語です。

3枚目は日本での知名度は高くありませんが、ジョン・ハイアットの『BRING THE FAMILY』(1987年)。アメリカ南部のアーシーな(土の香りのする)部分とロックをブレンドした1枚です。3枚とも、いまでも時々仕事の合間などに聴いています。やっぱり聴いて元気になれるのは、高校生・大学生の頃に感動したこれらの音楽ですね。聴くとしゃきとして、もう少しがんばろうかな、と(笑)。

## 05 MUSIC

たかはた・えいいちろう / 担当科目は憲法。研究テーマは日本とアメリカの法と宗教。成城大学法学部卒業後、ジョージア大学ロースクールを経て日本大学博士課程。2013年より現職。

### 激しさも躍動感もあって飽きない クラシックって楽しい!

交響曲第7番『未完成』シューベルト

#### 大熊 圭子 准教授

音楽は聴くより楽器を演奏する方が好きです。高校時代にオーケストラに入り、手にとった楽器がオーボエでした。そして初めて演奏した曲が『未完成』。小学校の音楽の時間には、メインの部分しか聴いてなかったせいもあるんですけど、大衆的な気がして退屈でした。はじめて最初から最後まで演奏してみて、いい曲だな…というところまではいかなかったけれど、少し思っていたのとは違うかもしれない、と。

大学時代はロックに夢中でした。ある休日の朝、ベッドの中で夢うつつに耳に入ってくる心地よい曲が…あれ? これって『未完成』? 父がクラシックが好きで、朝よく聴いていたんですね。あるとき自分でちゃんと聴いてみようと思って『未完成』を聴いてみたら、「あっ、クラシックっていいな」と、その時はじめてそう思いました。ロックに負けずとも劣らぬ激しさ、躍動感があって、すごく楽しい。何回聴いても飽きないし、歌詞がないのに感動できるのも魅力だと気づきました。

さらに後年、エンジニアとして働いていた時に会社

#### 感動の一本



シューベルト / 交響曲第7番 口短調D.759『未完成』(写真は第8番と呼ばれていた時代のレコーディング)

の吹奏楽部に誘われてオーボエを再開した頃。家の近くに借りていた練習場でひとり練習していると、また、どこからともなく『未完成』が…(笑)。それが、いま所属している藤沢市民交響楽団との出会いです。藤澤は市民オペラでも演奏していて、プロのソリストも参加して練習も厳しいのですが、大人数でひとつのものを創りあげていく楽しさがあります。普段は教えることも研究も一人の作業なので、とても新鮮です。学生さんも社会人になってからでもいいと思いますが、所属する場所からで、違う職業の人と会うために趣味をもつというのでもいいかなと思います。



先生から譲ってもらったYAMAHA初期モデルの美しいオーボエ。

## 06 MUSIC



おおくま・けいこ / 担当科目は文章表現法、思考方法論ほか。研究テーマは科学哲学。慶應義塾大学 工学部 管理工学科卒業後、日本大学文理学部修士課程。2007年より現職。

### 自分らしく歩みだす 自分をリセットする時の応援歌

杏里『BOOGIE WOOGIE MAINLAND』

#### 渡辺 容一郎 教授

大学4年生の時、昭和63年(1988)に流行ったサマー・キャンドルズが入っている杏里のアルバムです。その夏、ほとんどの学生が就職活動をしている中、僕は2つのことに集中していました。ひとつは大学院へ進むための受験勉強。当時はバブル期の最中、就職するのが普通で大学院へ行くのは珍しかったのですが、早くから学問をやろうと決めていました。そして、もうひとつがダイエットというか、自分改造ですね。その頃、同じゼミ生に好きな女の子がいて、夏が終わったら告白しようと考えていました。だけど僕は太っていたので、こんなルックスじゃだめだと(笑)。

そんな時にこのアルバムに出会いました。5人の女の子がA面でそれぞれの恋のストーリーを語り、そしてB面でその後どうなったか…。ある人は恋人と別れたりしながら自分のために自分で歩みだす、といったようにそれぞれが新しい自分を探しだす。

そうだ、自分らしく生きることが大事なんだ、信じた道を行こう、と勇気づけられた一枚です。秋になり、大学院の試験に無事合格し、ダイエットにも成功して彼女に告白しました。思いは叶いませんでしたが、僕もアルバムの5人の女の子と同じように、自分をリセットして学問の道へ歩みだした。冷夏だった昭和63年の夏の思い出とともに、いまでも聴くと21歳の熱い自分が蘇ってきます。2年前にイギリスへ留学した時に携えていき、イギリスの寒い夏に、冷夏でも心は熱かったあの夏を重ねていました。

僕の大学生当時よりさらに、他人と違うことを恐れる風潮にある昨今ですが、学生には決して他人に流されず自分らしい生き方を見つけてほしいと思います。最後に作詞家、吉元由美のライナーノートの言葉より——恋を語ることは、自分を探ること。それは新しい自分に出逢うこと——

#### 感動の一本



杏里の『BOOGIE WOOGIE MAINLAND (ウギ・ウギ・メインランド)』。1988年リリース。作詞は吉元由美。大ヒット曲、サマー・キャンドルズが最後を飾る。

# 心を揺さぶられた、この一本

## 少年の成長ストーリーに 自分を重ね合わせて

『交響詩篇エウレカセブン』SFロボットアニメ

### 庶務課 畠中 浩二

いわゆるエヴァンゲリオン世代です。中学2年、14歳の時に『新世紀エヴァンゲリオン』がテレビ放映されて、主人公と同年だったこともあり強い影響を受けました。それから友人の影響で深夜のアニメを観るようになり、高校に入ってからオタクな友人との出会いもあって、秋葉原や池袋といったアニメスポットやコミックマーケットに顔を出すようになります。だんだんディープな世界へ入っていきました。

ただ、中学では陸上、高校では野球をやっている表向きは体育会系で通っていました。いま思えば、やはりオタク系よりさわやか系でいたかった、「普通」でいたかったというのがあるんでしょうね。

この『交響詩篇エウレカセブン』は、社会人になった年(2005年)に発売されたDVDで、全13巻をボックス買いしました。エヴァンゲリオンと同じくSFロボット



アニメで、やはり14歳の少年がいろいろな葛藤の中、ヒロインのエウレカに出会い、さまざまな経験をして強くなっていくという成長ストーリー。脚本も好きですが、吉田健一さんのキャラクターデザインも好きで、特にエウレカは僕のお好みのタイプなので(笑)。

アニメ好きということも、表立って言ってこなかったこともあり、オタク系の友人は少数ですが、いまでも時々会っては「今期のイチオシアニメは何だ」とか。話す場所が、昔は土手や図書館だったのがいまは居酒屋になっただけで、全然変わっていない。自分をさらけ出して、深い共通項でつきあっている人とは長い関係ですね。最近はまだ自分の興味があることを話さない学生が多いように感じますが、もっと自分をさらけ出してもいいのかなと思います。



08  
ANIMATION

はたなか・こうじ/日本大学経済学部産業経営学科卒業後、2005年入職。大学時代から続けているキックボクシングはプロライセンス取得。

10  
GAME

## 東京ゲームショウでの優勝 その原点になった格闘ゲーム

『ストリートファイターII』アーケードゲーム

### 教務課 中野 隼人

ゲーム好きのきっかけになった1本をあげるなら、小学校高学年の頃にでた「ストリートファイターII」という格闘ゲームです。お店のゲームコーナーで、高校生のお兄さんが敵をどんどん倒してクリアしていくのを見て、かっこいいなあとお兄さんに憧れたのと同時に、それまでもテレビでヒーローものを見ていたけれど、画面で見ただけではなく、自分の手で実際にヒーローを操って場面を変えていくことができる。そのことに面白さを感じました。

1979年生まれで、ファミコン世代と呼ばれる世代なので、小学校の低学年から家庭でファミコンをやっていました。両親はわりと自由にやらせてくれましたね。中学・高校になるとゲーム友だちもできて、池袋のゲームセンターに通っていました。今のようにインターネットで対戦、というのがなかったので、台で向かい合って

対戦していた。友だち同士で攻略の知識や情報を交換しながらレベルを上げていくのが楽しかったですね。時間もお金も使いましたが(笑)。

その成果というのか、ゲーム大会で優勝したことがあります。一度は1997年の東京ゲームショウ。PlayStation用の3D対戦格闘ゲーム「三國無双」を光栄(発売元)のブースで、トーナメント方式で戦って優勝しました。翌年は、やはりPlayStation用の競馬ゲーム「ウイニングポスト」でまた優勝。これは一日2回やる大会だったので、1回目に僕が優勝して、2回目にずっと一緒に練習していた友だちが優勝、というオマケ付きでした。たかがゲームの金メダルだけど、好きこそ物の上手なれ、ではないですが、好きなことを突き詰めたことが、今の自分の何かしらの自信につながっているのかなと思います。



なかの・はやと/日本大学大学院生産工学研究科数理工学専攻修了後、2003年入職。大学時代に専攻したプログラミングスキルを活かし、大学内のIT環境の改善に尽くす。

09  
ANIMATION



おざわ・まさかず/日本大学芸術学部文芸学科卒業。1983年入職。2011年より現職。いまも趣味として小説を書き、USEN朗読文学大賞・奨励賞受賞作品を近日自費出版の予定。

## 宇宙と地上にひきさかれる 切ない遠距離恋愛

『ほしのこえ』新海 誠監督アニメ

### 学生課(第二部)課長 小澤 正和

約25分という短い作品で、アニメ作家の新海誠さんが監督から脚本、作画などすべての作業を一人で行ったインディーズアニメです。

2002年頃、サブカルチャーの分野に「セカイ系」という用語が流行って、セカイ系って何?と思ってネットを検索したら、代表作としてこの作品のタイトルが出ていた。それが『ほしのこえ』を観たきっかけです。近所のレンタルビデオ店でDVDを借りて観たとき、涙がとまらないくらい感動しました。

国連宇宙軍のメンバーとして宇宙に出た15歳のミカコと、地球に残った同級生のノボルとの間でずれていく時間と2人の想いを、携帯電話のメールをモチーフに描いた作品です。最初はつながっていたメールが、ミカコが地球から遠ざかるにつれて、だんだん届く時間が長くなり、ついには8年後に…。切な

かったですね。僕はこのストーリーを、宇宙バトルものとしてではなく、遠距離恋愛ものとして観ました。

風景がすごくきれいなのも印象的でした。2人が地上にいた頃の、夏の入道雲、自転車のあいのり、踏切の遮断機の音、バス停の雨、黒板に書かれた日直当番。そんな高校生活の一コマが繊細で美しかった。新海誠監督が、なにかのインタビューで「風景の美しさに救われ、励まされたから」とコメントされていました。まさに、その想いが伝わる描写です。

アニメは共同作業だと思っていたのに、冒頭に話したように一人で行い、それで素晴らしい作品ができることにも驚嘆しました。それ以降、新海作品は欠かさずに観ています。スーダン・ソングの言葉に「趣味を軽く扱うな。趣味は選択であり、その人の生き方につながる」とあり、私は座右の銘にしています。



### 番外編 ロンドンオリンピックを視察して

## 先導の白バイが側道の人とハイタッチ! 「楽しむこと」が成功の鍵だった

### 田邊 陽子 准教授

ゲームはゲームでもテレビゲームではなく、私は「Olympic Game」の話をして。昨年(2012)の夏、ロンドンオリンピックを現地で見える機会を得ました。もちろん専門の柔道は、イギリス柔道連盟のおかげで、全試合を見ることができました。そこで感じたことが3つあります。

ひとつは、大会が始まる前、ロンドン郊外のラフバラ大学で見たトーチリレーのシーンです。大学内をトーチリレーが通り、私がお世話になったイアン教授も聖火ランナーとして走ったのですが、その時の先導白バイが、なんと側道で応援しているみんなにハイタッチして、笑顔で先導していくのです。日本では、50センチでもはみ出していたら、ピピピピーッ(笑)。みんなも本当に楽しそうで、「ああ、これからオリンピックが開催されるんだ」という期待に満ちあふれていました。私もこの側道の人の中にいて、「これは、一本取られたな!」と思いました(笑)。

もうひとつは駅を降りて



イギリスナショナルコーチとともに

柔道会場へ行くまでの、ボランティアの人たち。これまた自らが楽しんで道案内をしていました。アスリートだけでなく、一般の人の生活の中に、スポーツやスポーツイベントが当たり前のように入って、その価値をみんなで共有していることを感じました。最後は、柔道会場で。イギリスの柔道女子は前評判は高くなくて、重いクラスで銅メダルが1つとれば…という程度でした。案の定、初日は軽量から始まりますから、1回戦でことごとく負けて、中には数秒で負けちゃう選手もいる。ところが、応援している人たちは、大人も子どももみんなすごく大きな拍手で量を降る選手をたたえるんですね。これで次の人が、よし、がんばろうという雰囲気になったんじゃないかと思えます。結果的に78キロ級で銀メダル1個、78キロ超級で銅メダル1個という好結果につながりました。

大成功をおさめたといわれるロンドンオリンピックですが、背景には、みんながそれぞれの立場で楽しんで、周りも楽しませていくという、その雰囲気や創れたことがあると思います。日本でオリンピックが開催されることになれば、私もぜひ、そうした雰囲気づくりの力になりたいと強く思いました。



道案内もこんなに楽しむボランティア



たなべ・ようこ/担当科目は体育実技。日本大学文理学部体育学科卒業後、筑波大学大学院修士課程。1992年バルセロナオリンピック・1996年アトランタオリンピック女子柔道で銀メダル。イギリス留学を経て、2006年より現職。

# ジャンル別気になる書店ガイド

白山通りを南下し靖国通りへ、さらに、すずらん通りへと足を運べば、そこは150軒を超える古書店、新刊書店が軒をつらねる“世界一の本の街”。目的の本を探すためだけでなく、ぶらりと宛てもなく、時空を超えた「本」たちの深い森に迷い込むことができるのもこの街ならではの楽しみ方。まずは、ジャンル別気になる書店ガイドをご参考に。

## 1 日本書房

江戸時代より前の古典文学を探すなら法学部からほど近い白山通り沿いの古書店。万葉集から近代文学まで奥深く幅広くそろえられている。「和本」に手で触れ魅力を知ってほしいと、店頭へ何気なく積み上げられている。



1階の店内は天井まで届く書棚 やわらかい質感の「和本」も豊富



千代田区西神田2-8-12  
☎ 03-3261-2744  
🕒 10:00~18:00 日、祝定休



## 4 田村書店

全集の品揃えと店頭セールで賑わう名店 黄色い札が貼られた全集など「日本一質が高い」といわれる店頭セールは、いつも賑わっている。2階はフランス文学、哲学など原書がそろい、法学部の江島教授もごひいきの店。

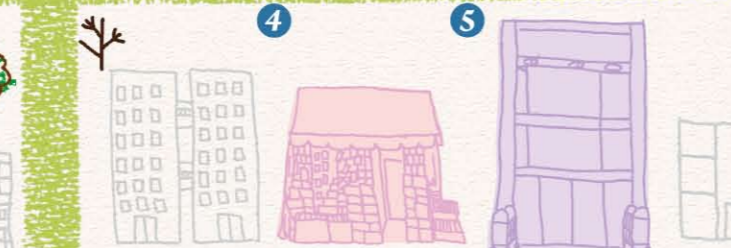


高級古書店の店頭にはセール品が



1階の哲学書コーナー

千代田区神田神保町1-7  
☎ 03-3291-0563  
🕒 10:00~18:00 日、祝定休



## 2 北沢書店

英米文学を中心に“見て楽しい洋書”も 靖国通りからガラスごしに見える螺旋階段が優雅な洋書専門店。1902年創業で英米文学を中心に、新刊、古書、稀覯書、見て楽しい洋書などが揃う。1階は「ブックハウス神保町」。



外国の図書館のような2階店内



フランス、ギリシャなどの原書

千代田区神田神保町2-5 2階  
☎ 03-3263-0011  
🕒 11:00~18:30(土12:00~17:30)  
日、祝定休

## お散歩スイーツレポート

古書店めぐりに疲れたら昔の若者は喫茶店や洋酒酒場...でも、いまどきの学生はスイーツでしょ！というわけで、編集部の子が古書店街のお店のイチオシスイーツを試食、実感レポートいたします。

## 9 カナダ風パンケーキ〜はちみつベーコン〜 サクラカフェ神保町

ここでしか味わえない世界中の珍しい飲み物、フードが楽しめる異国情緒溢れるカフェ。定番のパンケーキには、爽やかなレパノン発のバラ風味レモネードがピタリ！



千代田区神田神保町2-21-4  
☎ 03-3261-3939  
🕒 24時間営業 無休

## 10 だら焼き 亀澤堂

明治38年創業の老舗和菓子屋さん。定番の粒あん、こしあん、ブルーベリーと季節限定のあん。皮は甘めでしっとり、しっかり挟まったあんとの一体感が感じられて、素朴な味わいでした。



千代田区神田神保町1-12-1  
☎ 03-3291-1055  
🕒 9:00~18:00 日、祝定休

## 6 玉英堂書店

探偵小説が豊富、稀覯本ルームも公開 1階には日本文学、探偵小説が整然と並び、ほとんどの本には薄いパラフィン紙がかかっている。2階「稀覯本ルーム」には、良寛の名筆や源氏物語絵巻などが公開されている。



## 5 小宮山書店

ファッションやアートに興味があるなら 6フロアからなる店内には、ヴィンテージ写真集や美術書、デザイン、アートなどの古本が豊富。必見は中2階のファッション&ホビー。4階には三島由起夫の稀少本コーナーも常設。



1939年の洋服の型紙が！



古い演劇や芝居のポスター

千代田区神田神保町1-7  
☎ 03-3291-0495  
🕒 11:00~18:30(日・祝 11:00~17:30)  
無休(年末年始を除く)

## 7 三省堂書店 神保町本店

新刊がいち早く並び、著者サイン会も 三省堂書店の1号店として明治14年(1881)に開店した。約140万冊の本がそろい、まさに“本のデパート”。1階には新刊がいち早く平積みされ、サイン会や講演会も多数。



3階の法律関係の本棚



本の街、神保町のランドマーク



## 8 キントト文庫

昭和の駄菓子屋をイメージした本屋 赤い金魚の看板に、昭和好きならずとも懐かしさを感じる入り口。昭和、趣味、風俗、芸能、東京をテーマに店主自ら集めた掘り出し物の古書が並び、古い雑貨や玩具も楽しめる。



メンコやお面など昭和のおもちゃ



ショーケースにアトム絵の景品！

千代田区神田神保町1-19-1 藤本ビル1階  
☎ 03-3294-8700  
🕒 14:00~19:00  
日、祝定休

## 12 ブードルケーキ 柏水堂

老舗洋菓子屋さんの名物ケーキ。ウワサ通りの可愛いルックス！バタークリームに包まれた生地間にラズベリージャムが挟まって、コクがあるのにしつくない、さすがの味。



千代田区神田神保町1-10  
☎ 03-3295-1208  
🕒 9:30~19:00 日、祝定休

## 13 モンレニオン・ヴァニラ ソフトクリーム サロンド・富山房Folio

山盛りソフトクリームはさっぱりしていて、春から初夏にぴったり。使用しているヴァニラエッセンスは高級品だそう。出版社が経営しているカフェ。



千代田区神田神保町1-3  
富山房ビル B1F  
☎ 03-3291-5153  
🕒 月~木10:00~21:00  
金10:00~17:00 土、日、祝定休